

# アメリカ人の価値観を表す表現

## “Keep Your Powder Dry”

大西 博人

### 1. はじめに

アメリカ合衆国は移民から成り、西部開拓という特異な歴史を経験した人工国家である。このような建国の歴史から、必然的に個人主義を基本的な価値観の1つとしている。個人主義は、当然のことながら自助努力と自立独立心を含む。それゆえ、アメリカ人は冒険心に富み、自己を律する能力、つまり、危機管理能力に優れた国民であると考えられている。このような価値観は、アメリカ人に共有されておりアメリカ文化の一部と考えられる。

Wierzbicka (1997, pp.15-17) は、「『キーワード』は、特定の文化において特に重要かつ顕著である言葉」であり、「諸文化は一部それらのキーワードを通して解釈できる」と説いている。本稿では、現代英語に現れた“keep one's powder dry”という句ないし文を、このような文化を表象する「キーワード」とみなし、これを通してアメリカ人の価値観の1つと考えられる危機管理態度を考察する。

### 2. Oliver Cromwell の忠告

“Keep one's powder dry”という表現は、本来は次の用例に見るように狩猟において銃の火薬が湿らないように注意しておくという意味をもつ。建国の父祖の時代では、ライフルは単発式であり獲物1頭にチャンスは1回きりで、しかも不発の可能性もあったため、火薬が湿っていることは決定的な打撃となった。このため狩猟者は、一度この失敗を犯すと、火薬を常に乾燥した状態にしておくことに非常な注意を払ったのである。

① They also knew that if they didn't keep their powder dry, the rifle wouldn't go “bang.” It usually took only one heartbreaking misfire to ensure that moisture was kept out of the rifle's breech in the future.

(detroitnews.com, 1995, December 3) (下線は筆者による。以下も同じ。)

この用例はハンティングに関するもので、“keep their powder dry”は歴史的な文字どおりの意味を表している。このような銃管理の常識は、ライフル銃の発明当時から引き継がれてきており、銃が主要な武器であったという事実を考慮すると、この表現が戦争準備に用いられるようになっていったことは当然と言える。

この表現は、現在では「備えを怠らない」という一般的な成句であるが、イギリスの軍人・政治家で清教徒革命の指導者であった Oliver Cromwell (1599-1658) の忠言として伝えられている。“Put your trust in God, my boys, and keep your powder dry!” (諸君、神を信じ、そして火薬をしめらせずにおけ)<sup>1)</sup>に由来する。しかし、新大陸アメリカでは後半の“keep your powder dry”の部分に重点が置かれ、これがプロテスタンティズムの勤労倫理と結びつきアメリカ人の価値観のなかに定着していったと考えられる。つまり、単なる「銃の火薬を湿らせないで常に応戦できるようにしておけ」という物理的な意味から、「自助努力を怠るな」という自立と危機管理のスローガンとなったのである。<sup>2)</sup>

アメリカ人の文化人類学者 Margaret Mead (1965, p.262) は、1942年の名著 *And Keep Your Powder Dry* の Chapter 14: These Things We Can Do の最後で Cromwell のこの忠言を引用し、アメリカ人の国民性を次のように説明している。

If we are to fight, if we are to win, if we are to hold before us as we fight a goal we will count worth fighting for, that goal must be phrased in American terms, in that mixture of faith in the right and faith in the power of science: Trust God – and keep your

### powder dry.

ミードの信念は、アメリカ人が戦うに値する戦いに勝利しようとするなら、正義と科学の力と神を信じ、常に臨戦態勢をとっていないといけないというものである。常に警戒を怠ってはならないという態度は、建国当時よりずっとアメリカ人の価値観の一部を占めてきており、ミードはそれをこの著作で明確に再定義したのである。彼女がこの本を書いた当時は第二次世界大戦中であり、市民に戦意高揚を促す意図があったと考えられるが、彼女はこのスローガンにはアメリカ人の思考・行動の様式が集約されている表現であると位置づけているのである。

現代英語のなかに時折現れるミードによるこのスローガンは、現在では軍事用語として、“have one’s equipment and resources ready”という意味で、また比喩的に“be in a state of readiness to cope with a possible emergency”，という意味で用いられている<sup>3)</sup>。以下でこれを含む用例をいくつか取り上げ、文脈に従いそれらに表されたアメリカ人の態度を検討する。

### 3. “Keep your powder dry” が表すアメリカ人の価値観

ミードのスローガン “Keep your powder dry” は、現代英語、特に、英語ニュース・メディアでかなり広範囲に及ぶ文脈において用いられている。対象用例としては、筆者が過去10年間に週刊ニュース誌と現代人気小説より収集した9例(合計の丸括弧内に示した)に、週刊ニュース誌と有力新聞などの公開されているオンライン情報の検索より得られた、過去数年間の33例を加えた、このようにして得た42例を、メディアごとに各用例の文脈に従い便宜的に本稿の最後の部分にある付表のような分野に分類した。

付表にあるこれらの用例は統計的な資料ではなく、このスローガンが現れるおおまかな傾向を示すものとして扱う。このリストから少なくとも言えることは、このスローガンは特定のメディアや文脈にのみ現れるのではなく、かなり一般的な表現となっているということである。

ミードのスローガン “Keep your powder dry” が直接的な意味で用いられたのは、外交と軍事領域であるが、広く政治・経済・スポーツ・映画・マス

コミなどの広範囲な文脈で現れている。これらの用例のうち各分野ごとについていくつか選び、このスローガンが表す意味を以下で検討する。

#### 3.1. 外交・軍事面に現れたスローガン

ミードは、クロムウェルが戦争に備えるための忠告として用いたスローガン “Keep your powder dry” をアメリカ人に広義に適用し、アメリカ人の価値観を表す表現として確立した。この表現は、現在でも、クロムウェル当時の臨戦態勢をとるといふ本来の意味で用いられている。まず、戦争に関する用例から検討する。

② The institute noted that there is still only “fragile support” among the American people for U.S. assertiveness abroad, especially if American lives are threatened or lost and costs begin to rise. But, with China’s intentions in Asia still uncertain, the United States “needs to keep its ships as close as Japan, and its powder dry,” the report said.

(seattletimes.com, 1996, April 24)

これは The International Institute for Strategic Studies (国際戦略研究所) による、アメリカの海外派兵に関する分析である。アジアでの中国の意図が不明瞭である状況では、支持する国内世論が脆弱であるけれども、艦船を日本のごく近くに常駐させておき、「非常事態に備えていなければならない」と報告している。この用例は、第二次世界大戦当初にミードが発した警告とほとんど同じインパクトを伝えている。このスローガンは、ここではアメリカの世界戦略という文脈で用いられている。

次の用例も、米同時多発テロに続くアフガン戦争におけるアメリカの世界戦略を表している。

③ Osama misread us in Somalia, but so did much of the world. There are many arguments against humanitarian war but the clincher is that, as we are likely to pull out under fire, it erodes U.S. credibility. It gives bad guys the wrong idea about us. It tempts them.

A Great Power should always keep its powder dry for the supreme fight. We are in one now. And no amount of casualties will deter

us. (chicagotribune.com, 2002, January 21)

アメリカは、ソマリアの内戦に派兵したが、現地の武装集団に襲われ十数名の戦死者を出し、国内世論を考慮し撤兵した。この判断がオサマ・ビンラディンを含め世界中に、アメリカは紛争地への派兵には弱腰であるという印象を与えたということを反省し、「偉大な国家アメリカは至高の戦争に備えて、常に臨戦態勢を維持していなければならない」と述べている。いかなる犠牲を伴ってもアメリカの姿勢に変化はないという決意を示している。この決意は、同時多発テロ後にテロ撲滅を旗印にタリバンとアルカイダの掃討を目ざし、2001年10月7日、カブールなどへの米英両軍による空爆に始まるアフガン戦争にも読み取れる。この文脈でのこのスローガンは、約60年前にミードが警鐘を鳴らしたまさにその警告を再現するものであると言える。

クロムウェルの忠告を受け継いだミードの警告は、現在でもアメリカが関与する外交や戦争に対して重要性を失っていないように思える。2001年9月11日の米同時多発テロは、アメリカのこの警戒心の間隙をついたものであり、アメリカはそれを謙虚に反省している。このように過去の誤りを記録し、それに学ぶことがアメリカの強さの1つであるように思える。

### 3.2. 政治や選挙活動面に現れたスローガン

このスローガンは、本来、戦争を連想させる表現であるが、政治についての文脈で多く現れるようである。政治の世界における選挙や議会活動は、一種の戦争であるという側面があるため、この表現がメタファー的にしばしば用いられるのである。

④ Clinton, who believes a Gore presidency will help cement the Clinton legacy, needs to keep some powder dry for this fight – if he has any left after Starr sends his report to Congress. (Time, 1998, August 10, p.36)

ここでは、クリントン大統領はゴア副大統領が次期大統領となれば自分の政治路線を固めてくれると信じて、社会保障制度や増税などに関する法案を議会に提出し、共和党と戦うことに備えて“keep some powder dry”の必要があると述べている。不倫疑惑を弾劾裁判へと持ち込もうとするスター特別検察官が議会に報告書を送付したあとに、クリント

ンにまだ戦いに備えて火薬が残っているなら、彼は下院司法委員会での弾劾訴追条項の決議という戦いに対して「火薬を湿らせないでおく」、つまり、臨戦態勢をとっておく必要があると報じている。

次の用例は、上例より約1か月後の同じく不倫偽証疑惑に関するヒラリーの心境を伝える報道である。

⑤ “She’s going to keep her powder dry,” said one family friend who has spoken to both the president and first lady. “I think she will speak eventually, but she does not feel this is the time.”

(washingtonpost.com, 1998, September 18)

ヒラリー夫人は夫を今弁護するのではなく、そうするのに効果的な機会を待っていると述べ、そのことを表すのに“keep her powder dry”という表現を用いている。つまり、絶えず状況を判断し油断なく最も効果的に夫を弁護できる好機を待っていることを表している。

このスローガンは、上例のような議会運営やスキャンダルの文脈だけでなく、大統領選から市議会選挙にわたる選挙戦に多く現れる。以下の用例は、知事選に関する場合である。

⑥ But for her first 18 months in office, Granholm pushed aside talk of a possible bid for governor. Instead, she said she wanted only to serve as attorney general.

Just last month at the Democratic State Convention in Detroit, Granholm urged delegates not to pressure her into a decision, telling them: “Keep your powder dry. Chill out, everybody.” (detroitnews.com, 2001, March 9)

ここではミシガン州司法長官ジェニファー・グランホームが知事選に推されようとする状況に際して、彼女が代議員たちに立候補するように自分にプレッシャーをかけないようにと強く求めているところである。今は頭を冷やし、いざと言うときまで心づもりをしておくようにという意味で、このスローガンが用いられている。つまり、来るべき決戦に備えて用意周到に「角を矯めておけ」と言っているのである。

これは“keep one’s[the] powder dry”という形で現れることが一般的であるが、次の用例のように、動詞“keep”の代わりに“have”が用いられる

こともある。

⑦ Bush asked the panel to proceed as planned, and Parsons said the failure to address the system's problems could weaken the nation's ability to respond to some future crisis. "It's going to prohibit us from stepping up to emergencies that are unforeseen or unforeseeable because you've spent all your money" on Social Security obligations, he said. "You don't have any dry powder."

(usatoday.com, 2001, December 12)

これはブッシュ政権での社会保障委員会の共同議長の人であるAOL Time Warner社重役Richard Parsons氏の意見で、社会保障に予算を使ってしまったので、予知できない危機に備えることができなくなろうとしていると述べている。ここでの“powder”は非常事態に対する予算額を指しており、危機に備える武器・弾薬ではなくお金がないことを“You don't have any powder.”と表しているのである。

### 3.3. 経済活動や商取引に現れたスローガン

このスローガンは、政治活動の報道に多く現れたが、次に多く顔を出すのが経済関連の記事においてである。特に、中央銀行の金融政策に関する報道に多く現れる傾向があるようである。

⑧ “It's not a recession you want to take a chance with,” said Frederick Breimyer, chief economist at State Street Bank & Trust Co.

A bigger cut, to 1.5 percent, is unlikely because the Fed wants to “keep some powder dry” and “tiptoe” as it nears an effective boundary of 1 percent, Breimyer said.

(msnbc.com, 2001, December 11)

このニュース・ウィーク誌米国内版の用例は、ステート・ストリート信託銀行の首席アナリストであるフレデリック・ブレイマイヤー氏による、米連邦中央銀行による公定歩合政策についての意見である。彼によると、連邦中央銀行はこの年10回にわたって公定歩合を下げ続けてきたため、さらに1%の下げ幅が必要となる状況に近づいたとしても、11回目の利下げは1.5%にまで至るような大幅な利下げはありそうもないのである。その理由としては、効果

的な金融政策のために「すぐに対応できるように警戒態勢を維持し」、「つま先立ちし、用心して」、微調整の余地を残しておきたいためであると述べている。

ここでは、いざと言うときに対応できるように可能な利下げ幅を残しておくことを表している。この“powder”の中身は、金融政策の武器である利下げ幅の数値自体である。

⑨ Through July 31, 1 percent days already equal all of the correction year of 1990 – 29 percent. The raw numbers showed 29 of 147 sessions with 1 percent up moves and 14 down days of 1 percent.

The median (that point at which 50 percent of the values are above and 50 percent of the values are below) since 1945 is 16 percent.

Yet another reason to keep your investment powder dry.

(seattletimes.com, 1997, August 17)

この用例は、株式相場の上げ下げについての指標に関するものである。相場が上げ相場か下げ相場かは、市場が開いている日のうちで平均株価が1%上昇する日が年何日あり、1%下落する日が年何日あるかということに注目し、その変わり目で判断している。ここでは1997年7月31日までは1%上昇する日が29%あり、1990年での株価の調整時期に相当し、上げ相場となると述べている。

しかし、1945年以来の平均は16%であるため、「投資の火薬を湿らせておかないように」というメタファー表現をし、株価の推移に対して常に対応できる投資体勢をとっておく理由はあると警告しているのである。

次の例では、この定型スローガンのなかの“dry powder”のみ引用符をつけて用いている。

⑩ Venture capital has far from dried up. VCs managed to raise \$16 billion in the first quarter. VCs still favor Internet and software firms – computer storage is the current rage – as well as biotech and basic business software and services. Old-economy firms are still out. Jesse Reyes, vice president of Venture Economics, estimates there is \$30 billion to \$40 billion in “dry powder” – money raised but not invested.

(U.S. News & World Report, 2001, June 4, p.39)

これは投資家がベンチャー企業への投資に慎重になり、投資額が減少していることを伝える報道である。しかし、彼らは従来型の企業への投資には関心を示さずに、バイオや商業用ソフトとともにインターネット関連を投資対象と考えて、大量のまだ投資していない資金を準備しているのである。この資金を“dry powder”, つまり、市場を活性化する攻撃的な投資資金と呼んでいるのである。これは投資用語であるが、本来の“keep our powder dry”の意味合いを含んでいる。この表現は、いざというときに備えて勝負ができるように大量の資金を保持しているという投資家の準備態勢を戦争のイメージを通して鮮やかに喚起させている。

⑪ In fact, he would be trying to complete a \$22.5 billion acquisition right now if EchoStar Communications had not outbid him last fall for General Motors' Hughes Electronics unit, which includes the DirecTV satellite television company, with an offer of \$26 billion. It would surprise no one if Mr. Murdoch announced some other big deal. But Mr. Murdoch may be keeping his powder dry these days because he has been here before: his company came close to a bankruptcy filing in the last global recession a dozen years ago.

(newyorktimes.com, 2002, March 11)

これは、メディア王マードックがジェネラル・モーターズ社の関連企業ヒューズ・エレクトロニクスを買収しようとしている戦略についての報道である。さらに彼がもっと大きな取引にでてもだれも驚かないだろうと述べたうえで、破産寸前にまで追い込まれた経験のあるマードック氏は、いざという企業買収の好機に備えて待機していると伝えている。ここではこの表現は、企業買収に備えて万全の体制をとるという意味で用いられている。

### 3.4. マスコミや映画に現れたスローガン

このスローガンが国家の中枢分野である政治・経済・外交などの文脈において現れることは、これらが国家の存亡を左右する分野であることを考えると、ごく当然なことと言える。しかし、これはそれ以外の文脈においても用いられている。

次の用例は、ロシアとチェチェンとの紛争に関する記事であり、これ自体きな臭い内容を伴っているが、ここでのスローガンは直接的にはメディアの報道姿勢について用いられている。

⑫ His letter, not publicly released, was addressed to the head of the Broadcasting Board of Governors, the autonomous federal agency that sets policy for U.S. international broadcasting. It concludes with this handwritten message: “As long as the Russians and Chechens are talking, we need to keep our powder dry.”

(washingtonpost.com, 2002, February 25)

これは国務次官Richard Armitageが、ロシアとチェチェンの紛争についての報道に関して、米連邦放送理事会議長にあてた手紙についてである。この手紙で彼は、米放送メディアによる両者の紛争の一方を支持していると受け取られるような報道を懸念し、両者が解決策を模索して話し合っている間は、どんな方向に交渉が進展するか「火薬を湿らさずにいる」必要がある、つまり、事態の成り行きを警戒して見守り、いつでも時期を逸せずに報道体制を取っていなければならないと警告しているのである。

⑬ MGM did not release any videos or DVDs from its James Bond franchise last year, preferring to wait until the November release of the 20th Bond picture.

“We’re keeping our powder dry on the Bond movies.” McGurk said, adding that the studio will soon release the name of the new Bond picture. (latimes.com, 2002, February 7)

ここでは映画会社MGMは昨年、企業戦略としてジェイムズ・ボンド映画のビデオやDVDを売り出さずに、2002年11月の20作目のボンド映画まで発売を待つことを選んだと述べている。その理由として、副会長で社長でもあるChris McGurk氏は、我々はボンド映画が最大の効果をもたらす機会に怠りなく備えていると述べているのである。この表現は、ここでは警戒態勢を取っているというよりは、角を矯めて好機を待つという意味が強い。

### 3.5. 現代人気小説に現れたスローガン

このスローガンは、ニュース・メディアに多く現れるが、現代人気小説でも見られる。以下の2つの用例は、この表現がいずれも日常会話のなかで現れている。

⑭ 'I have just one thing to say to you,' Lewyn said, interrupting. 'Fuck 'em. Fuck Garvin. Fuck Phil. Fuck the merger. Fuck 'em all. This reorg sucks. I'm with you on this one, guy.'

'Listen, Mark, can you -'

'I'm in the middle of something here.' Lewyn jerked his head toward the Conley people in the room. 'But I wanted you to know how I feel. It's not right, what they're doing. We'll talk later, okay? Chin up, guy,' Lewyn said. 'Keep your powder dry.' And he went back into the conference room. (Michael Crichton, *Disclosure*, Arrow 1994, p.21)

この場面は、シアトルにあるハイテクDigiCom社の製品設計担当係長Mark Lewynと技術担当係長Tom Sandersとの会話である。Sandersは昇進が予定されていたが、秘密裏にConley社との合併による会社の組織再編(reorg)が進んでいることに、友人のLewynが社長Garvinと主任顧問弁護士Philを含めた会社首脳部に毒づき、サンダーズに警戒するように忠告しているのである。つまり、元気を出せ(Chin up)と励まし、昇進どころか首にされるかもしれないから、会社側と「交渉で戦えるように準備しておけ」という意味でこのスローガンを使っているのである。ここでは企業での社員待遇についての交渉について用いられているスローガンである。

次の用例は、ニューヨーク郡で起こった麻薬隠匿事件にかかわる大陪審員の審議についての、ほぼ同年齢の地方検事補どうしの会話である。

⑮ "When we lost Loco we lost our best party animal. When did Laurie go to Official Corruption? I must have missed it."

"About that same time, a year or so ago. If I remember, she was kind of sweet on you."

"We were just friends, thank you, which was about all I could handle. I used to have to defog the windows when she left the office.

Anyway, isn't she engaged to a stockbroker who buys her Porsches?"

"Investment banker. And it's a Jaguar, I believe. You may be going to ask her for help on this?"

"I might."

Estrada whistled. "Well, all I can say is, keep your powder dry." (Philip Friedman, *Grand Jury*, Ivy Books 1996, p.287)

上司の地方検事補Estradaは、Mahoneyに官吏墮落局(Official Corruption)に配置がえになった元同僚Laurieに意見を求めたりして、大陪審での審議でぬかりのないように調査することを助言している。この事件では高齢の中国系アメリカ人夫妻が麻薬所持の容疑で逮捕されているが、大陪審は彼らの起訴か不起訴かを決定する場であるため、この表現を用いて用意周到にあらゆる準備を怠ってはならないと部下に忠告している。この表現が忠告の文脈で用いられるときは、特に、クロムウェルの忠言を彷彿とさせる。

以上ここまでこのスローガンが現れたいくつかの用例を眺めてきたが、この表現は政治の文脈でより多く現れる傾向が見られた。しかし、用例②③に見るように本来の軍事面でも依然として用いられている。また用例⑧⑨⑩⑪のように経済や、⑫⑬のようにマスコミや映画にまで用いられている。これはニュース・メディアだけでなく、用例⑭⑮のように大衆小説において日常会話としても用いられている。このように見てくると、このスローガンがアメリカ社会にいかに浸透しているかがわかる。

## 4. まとめ

最近、日本人は危機管理意識が低いという指摘や、自己責任という言葉が頻繁に聞かれる。これらの警告は、おそらくアメリカと比較してという前提のもとで言われているのであろう。本来、日本人は農耕社会に属し、集団として協力して危機に対応してきた歴史がある。これに対して、アメリカ人は狩猟社会に属し、個人として危機に単独に対応してきた。つまり、集団主義的傾向をもつ日本人と、個人主義的傾向が強いアメリカ人とは、危機管理態度が違ふことは当然と言える。

本稿では、日本人の危機管理態度を見直すために

も、スローガン“Keep your powder dry”をアメリカ人の危機管理態度を示す1つの「キーワード」として紹介し、そこに潜むアメリカ人の価値観を検討した。このスローガンは、本来の分野である外交や軍事面だけでなく、政治・経済のような国家の中核的な領域からメディアや映画などの他の面まで用いられている。このことから、危機管理がアメリカでは広範囲にわたり確立していることが読み取れる。

このような危機管理態度、特に、外国勢力から攻撃を受ける可能性に対する周到な準備は、建国当時から終始一貫したものであった。しかし、このような危機管理体制にも関わらず、2001年9月11日の同時多発テロを未然に防ぐことはできなかった。このことに対する反省は、用例③に端的に表れている。そしてこの用例こそが、現在でもミードの警告を原型に近い形で再現していると考ええる。

アメリカは米ソが対決していた冷戦に勝利し、唯一の超大国となってから自信過剰になっていたため、この伝統的な危機管理姿勢にすぎがあったと考えられる。そのため、同時多発テロを未然に防げなかったとすることができるであろう。しかし、テロ後のアメリカは、この歴史的悲劇を教訓とし、ミードの唱えた建国以来の伝統的な危機管理態度に立ち返った。その1つの具体的な対応として、ブッシュ大統領はテロ後約1か月の10月8日、本土安全保障局(The Office of Homeland Security)を設置し、Tom Ridge氏を長官に任命し、局の使命・機能・運営などを盛り込んだ国家戦略を発表した。<sup>4)</sup>その後、2002年6月6日、ブッシュ大統領は、政府関係機関の連携を強め、テロ防止対策を強化するため、本土安全保障局を恒久的に本土安全保障省(The Department of Homeland Security)に格上げしている。

本稿で取り上げた“Keep your powder dry”は、本来、戦争に及んでアメリカ市民に団結心と戦意高揚をかきたてるためのスローガンであったが、現代では、用例②③④⑦⑧⑨⑩⑫⑬⑭⑮に見るように、主として「非常事態や困難な問題に対して警戒を怠らない」という意味で用いられていることが多い。ま

た用例⑤⑥⑪⑬に見るように、「好機を逸することのないように常に準備をしておく」という意味でも用いられていることが判明した。“Keep your powder dry”は、これら両方の意味合いをもち、アメリカ人の危機管理態度を表す「キーワード」となっていると言える。同時多発テロを契機として、これはアメリカの危機管理態度を表すキーワードとしてより重要な意味をもつようになったと言えるのではないだろうか。

#### 注

1) このスローガンは、Edward Hayes, *Ballads of Ireland* (1856) のなかの“Oliver's Advice”で紹介されている[Cf. John Bartlett, and Justin Kaplan, *Bartlett's Familiar Quotation*, Sixteenth Edition, (Boston: Little, Brown and Company, 1992), p.389].

2) 日野信行「英語の発想」『英語教育(4月号)』(東京:大修館書店, 1991) 8頁参照。

3) Cf. *Oxford Dictionary of Current Idiomatic English*, Vol. 2, (Oxford: Oxford UP, 1983), p.332.

4) Cf. <http://www.whitehouse.gov/news/releases/2001/10/20011008.html>.

#### 参考文献

- 阿部齊(編) (1992) 『アメリカの政治』 (USA GUIDE 3 POLITICS) 東京:弘文堂  
 自由国民社(編) (1992) 『世界の戦争・革命・反乱・総解説』 東京:自由国民社  
 水村光男(編著) (1991) 『世界史のための人名辞典』 東京:山川出版社  
 Mead, Margaret. (1965) *And Keep Your Powder Dry*. 1942. (New York: William Morrow and Company).  
 Wierzbicka, Anna. (1997) *Understanding Cultures through Their Key Words*. (New York: Oxford UP).

## ●付 表

	政治/選挙/政策	経済/投資/取引	外交/軍事/銃器	スポーツ	映 画	マスコミ	その他	合 計
Time	3	0	1	0	0	0	0	4 (3)
Newsweek	1	3	0	0	0	0	0	4 (1)
US News	1	1	0	0	0	0	0	2 (2)
現代人気小説	0	1	1	0	0	0	1	3 (3)
losangelestimes	1	2	0	0	1	0	0	4
chicagotribune	1	0	1	0	0	0	0	2
newyorktimes	0	1	0	0	0	0	0	1
washingtonpost	2	0	0	0	0	1	0	3
seattletimes	2	2	1	2	0	1	1	9
detroitnews	3	0	2	1	1	0	0	7
usatoday	2	1	0	0	0	0	0	3
合 計	16	11	6	3	2	2	2	42 (9)